

地域循環型社会を 私達の力で創ります



お客様と私たちのコミュニケーション誌
エ コ ス
ECO'S通信 VoL.176 January 2008

第35期事業計画中間報告会開催



12月1日に、標記報告会が開催されました。例年12月には、『励みの会』が開催されましたが、今回は第35期の5大重点目標に対して、中間期での達成状況の報告及び、下期に向かっての取り組みを各責任者が発表しました。

報告内容は次の通りです。

1. エネルギーサポート事業部
販売計画について…松下部長
2. エネルギーサポート事業部
廃油収集戦略…福岡課長
3. エネルギーサポート事業部
製造計画…木村課長
4. 工事部
検査方法の見直しと作業効率化…岸本課長
5. 経営資源の最大限活用
5S活動報告・・・河上部長
ホームページ導入・・・長野社員
SANシステム導入・・・安原部長

指導していただいた各顧問の方々より講評をいただきました。

木島さまよりSANシステムについて

今始まったばかりで初期段階です。情報は1つでは意味がありません。関連付けた情報とで役に立ちます。データを日々入力し、月末にき

ちんと集計できるようになれば、システムとしての成果が表れます。これは、皆でやらなければなりません。

佐藤さまより

残り6ヶ月をチーム一丸となって、難局を乗り越え、計画を実行してください。

小村専務より

自分たちから新しいことに挑戦していく姿が素晴らしい。山根社長や千賀顧問の話を素直に受け入れて、どんどん突き進んでいく勢いを感じます。今後もがんばってください。

山根社長より

事業は環境の変化に素早く対応していかなければなりません。皆さんは素晴らしく成長したと感じます。PDCAサイクルを回し、積極的に行動してほしい。

千賀顧問より総括

以前は、事業発展計画とは別のことをやっており、仕組みがなかった。仕組みができた今は、それを実行することがこれからの目標です。5大重点目標を各部署が展開しています。計画をたてて、それぞれが任務をもって取り組むとできる。まい進していきたい。

繁盛店訪問

ふたば園福祉ショップ光 様

699-0822 島根県出雲市神西沖町2485-1

TEL・FAX (0853) 43-8500

営業時間 10:00～16:00

休日 毎週日曜・祝祭日



ふたば園福祉ショップ光は、ふたば園で作ったうどんやそばをおいしく安く召し上がっていただくレストランコーナーと、園生が手掛けた木工製品・手工

芸品・新鮮な野菜や花を即売するコーナーを併設しています。園生6名、職員3名で対応しています。

うどんは、本場讃岐で修業された職員さんが、添加物を一切使わずに作っており、安全でおいしい商品です。

こちらで働いている後谷育子さんは、市内の大型スーパーと掛け持ちでがんばっています。店内での接客業務や厨房での皿拭きなど、何でもこなします。店内ではいつもニコニコ笑顔をお客様を



いつも笑顔で対応してくれる、後谷育子(うしろだにやすこ)さん。かき揚げうどんを勧めてくださいました。

お迎えます。その笑顔がステキで、ファンもたくさんいらっしゃいます。

「昼時は、お客様がたくさん来られ、バタバタ忙しいけど、慣れたので楽しいです。近くのお客様がよく来てくださるので、うれしい」と、働く喜びを語ってくださいました。

メニューでお勧めは、「かき揚げうどん」と「かき揚げどんぶり」です。「季節の野菜とエビの天ぷら」も絶品です。

「世界一おいしいうどんを是非食べにきて下さい」

園生たちの指導にあたっている職員の方にお話を伺いました。

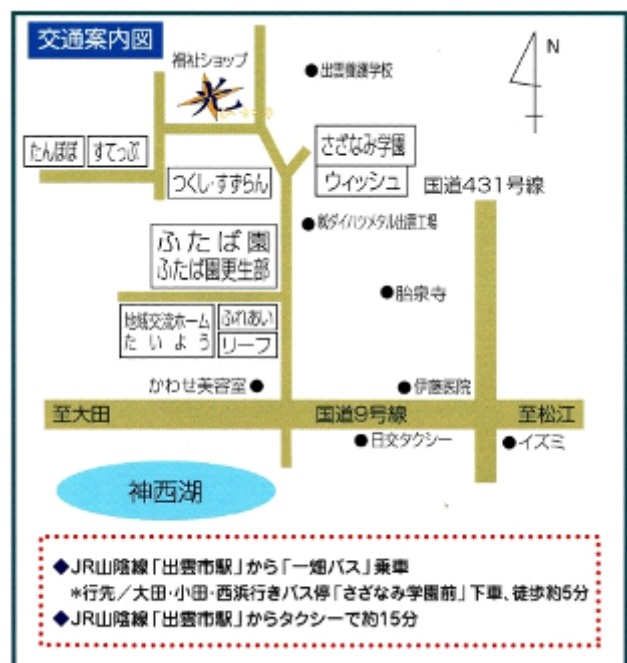
「お客様は、福祉ショップということが分かったの来店ですが、仕事としてやっているの、職員と同じレベルで、自信を持って接客できるように指導しています。

失敗した場合、同じ失敗を繰り返さないように、その日のうちに指導して直します。また、厨房が狭いので、声がけをして、けがなどが無いよう心がけています。」

「育子さんたちが頑張っています。地元の方々とは接することができる交流の場として、足を運んでみてください。」



園生が作られた、木工製品、手工芸品が展示販売されています。手作りで暖かみがあります。



全危協（財団法人危険物安全協会）だより

～地下タンクからボイラー施設への配管の亀裂による灯油漏洩事故事例～

【事故概要】

事業所付近で油臭がするので調べたところ、敷地前の小川（川幅1m）に油膜が見られた。油は擁壁の目地2箇所から小川に流れ出ていたため、川から約17m隔てた地下タンク施設からの漏洩が疑われた。タンクと配管の漏れ検査を実施したところ、送油配管に異常が認められた。小川に流れた灯油は吸着マットで処理し、下流への大きな影響はなかった。

【事故原因及び分析】

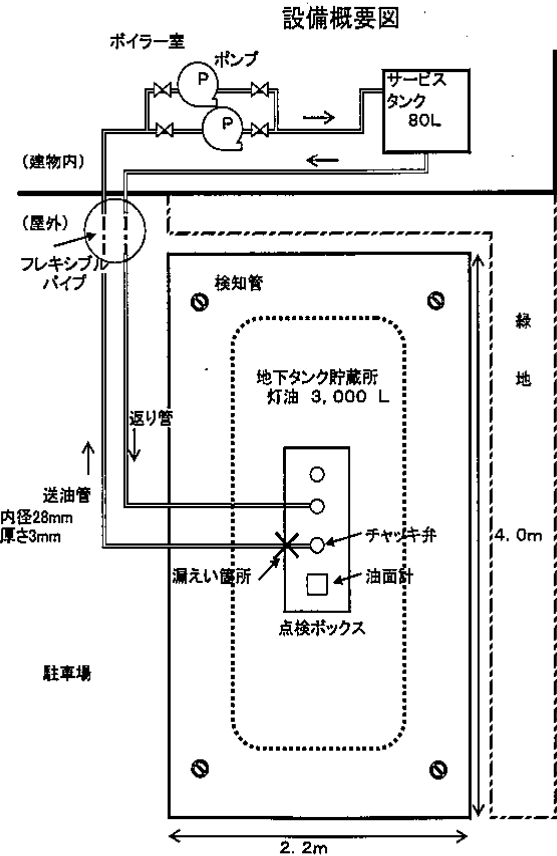
地下タンクの送油配管は、タンク上部のチャッキ弁からねじ込み継ぎ手で接続されており、ねじ部は23mmが継ぎ手の中に納まり、15mmは露出状態となっている。今回漏洩が発見された部分は、露出しているねじ切りに沿って半円に亀裂があるため、点検ボックスの外側の埋設配管に土砂等の荷重が加わったために、ねじ切り部分に荷重がかかり亀裂を起こしたものと推定される。

【事故対策】

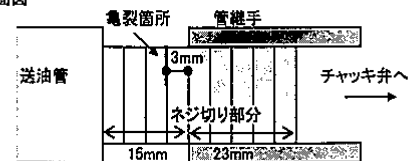
定期点検を確実に行うとともに、日常点検を励行する。
従業員の保安教育を実施する。

参考資料：

財団法人危険物安全協会発行『危険物と保安』
No.19（2007・秋）より引用しました。
今後、随時、事故事例を紹介していきます。



亀裂箇所断面図



新入社員紹介

12月13日に入社されました、
長谷川さんを紹介します。

- ① 趣味：スポーツ観戦、将棋
 - ② 特技：球技
 - ③ 当社を志望した理由：地域社会に貢献できると思ったから
 - ④ 入社して思ったこと：大変な仕事だと思うが、皆さんが明るい。
 - ⑤ 当社に希望すること：本社の事務所を拡張してほしい。
- 自己PR：一生懸命頑張ること！

よろしくお願ひします!!



松江市央道湖北畔にそびえ立つ「松江城」は、千鳥城とも呼ばれ市民に親しまれています。

第10回本社一斉清掃の実施

平成19年12月22日

鳥屋原：事務所台所を中心に掃除した。洗濯機内に油の固まりがこびりついていて、重点的におとした。また、蛍光灯もきれいに拭いた。

石原：トイレ内外の掃除をした。棚や天井に油汚れを発見！！マナーを守ってください。

福岡：外から窓ふきをしたが、難しかった。

長谷川：初めて参加した。みんなでやるのが大切だと感じた。

長野：中から窓拭きをした。古新聞を使い、結構きれいになり、自己満足！

安原部長：構内も廻りも見違えるほどゴミが少なくなった。来年も違った角度からやりましょう。

松下部長：本社側ののり面はゴミはほとんどない。反対側は空き缶、空き瓶が目立つ。草木が茂っているところは捨てられやすい。継続していきたい。

山根社長：10回やると効果が表れる。東側がきれいになった。

河上：自分できれいにしたところは、汚したくないという気持ちになる。自発的にゴミを拾うようになる。目標は、改めて一斉清掃をしなくてもいいようにと思い、今後も続けていく。



あいにくの雨模様でしたが、短時間できれいになりました。

安全教育

～移動タンク貯蔵所取り扱い講習会～

腐食等不具合箇所があると、漏洩の原因になりかねません。各車両担当がメンテナンスができるように講習を行いました。



今回の講習は机上にて行いました。移動タンク貯蔵所に携行する書類（点検表）などについて、学びました。

自分を高める今月の一冊

12月の指定図書

「求めない」を読んで

吾郷直彦

たしかに求めなければ、自分は自由になるだろう。「衣食住」は何もかもそろっていれば、求めないだろう。もし、何もかもそろっていても、私たちはさらに何かを求め続けるだろう。

人とは、そういうものだと思う。

仕事上では、利益を伸ばせと求められている。もちろん当たり前のことだ。求め続けられると、私たちも精神的にまいってしまう。その結果、会社を辞めることになったり、悩んだ末、「自殺」にまで発展することもある。

私たちは求めるものなのだ。でも、求めない時間を作り、心を穏やかにする時間をつくるのが大切だと思う。この繰り返しで私たちは生きていこう。誰もができれば、私たち人間社会も、変わっていくでしょう。



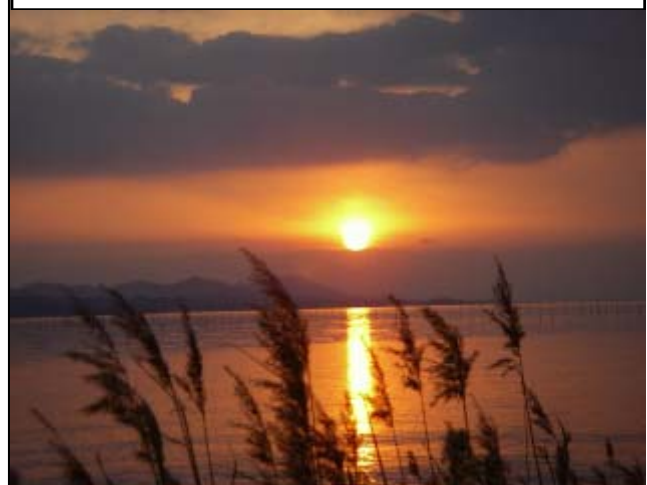
元氣の出る言葉

中村天風師

てんたんめいろう
恬淡明朗

明るく朗らかに
生き生きとして 勇ましく

（「成功の実現」より
日本経営合理化協会刊）



穏やかな正月を迎えました。央道湖の夕日です。
（1月3日 長野・撮影）

自分を高める今月の一冊

ホームレス中学生

田村裕著 株式会社ワニブックス刊



「衝撃の解散劇 家がなくなった。」で始まるこの本には、差し押さえによって家に住むことができなくなった家族が、その瞬間から家族が一人一人ばらばらに住むことになり、一家離散、極端な貧乏生活の悲劇が始まることとなる。

裕少年は、豊かな日本にもこんな現実があるのか、思わず疑ってみたくなるような公園での野宿生活を始める。しかしその中でも人と人の心のふれあい、人情の通いあいを心の栄養として育っていく。そしてお笑いの吉本興業に所属し、お笑いコンビ麒麟を結成し人気を集めることとなる。

しかし考えてみれば、戦争に敗れ、国土が荒廃した戦後の日本を、住むところも、食物もなくても、明るく、勇気を持って豊かにしようと努力した先輩達とどぶらしてみたら、日本人の素晴らしい本質が見えるように感じます。

この本が、あつという間に100万部も売れる理由はなにか？ ぜひご一読を・・・

山根記

原稿を公募します

本誌の原稿を公募します。800字～1000字程度で、環境をテーマにしたものを希望します。薄謝ですが、原稿料を支払います。締め切りは、今月末です。編集部あて、どんどんお寄せ下さい。

今月のクイズ

解答を下記の編集部までお寄せ下さい。応募の方法は、ファックス、電子メール、ハガキ、営業マンに渡していただいても結構です。正解者の中から抽選で1名様に賞品を差し上げます。今回の賞品は、デコポンです。

締切は今月末です。ふるってご応募ください。

Q 1月7日に七草粥を食べる風習がありますが、春の七草を全てお答え下さい。



先月号の答えは「イエス・キリストの生まれた日」でした。抽選の結果、雲南市藤江さまが当選です。おめでとうございます。

蔵書新着情報

12月に購入した本を紹介します。誰でも貸出可能です。貸出及び返却は井上社員を通してお願いします。



【書籍】

- ・日経大予測 日本経済新聞出版社
- ・ホームレス中学生 田村 裕 ワニブックス

【雑誌】

- ・日経トレンディ 2007.12 日経ホーム出版

書籍の購入希望がありましたら、井上社員まで。検討の上、購入致します。ジャンルは問いません。

応募用紙 (答)

会社名または住所、氏名

FAX 0852-37-2472 E-mail n-hiroko@trust.ocn.ne.jp

編集後記

今年もお正月に年賀状をたくさん頂きました。、もらってうれしい年賀状は、やはり手書きで近況を綴ったものです。また、写真や版面などの力作もあり、それぞれの個性がうかがえます。

また、年賀状を頂くことによって、相手の無事が確認できるし、近況がわかるので、とても楽しみにしています。

しかし、時代の流れとともに3人に1人が電子メールを利用しているということです。我が家の娘たちも、元旦から電子メールでの年賀状を送ってましたし、郵便で娘たち宛にきた年賀状は数枚しかありませんでした。年の初めから時代の変化を感じました。



雪をかぶった「ナナカマド」

発行日：毎月10日

発行：690-0025 島根県松江市八幡町796-20

TEL 0852-37-2470

FAX 0852-37-2472

山陰興業(株) ECO'S通信編集部 長野

E-mail :n-hiroko@trust.ocn.ne.jp

ホームページ公開中(<http://www.e-skk.co.jp>)